

[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2001年1月

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 財団法人日本太鼓連盟

副会長 塩見 和子 Tel.03-3580-9536 Fax.03-3580-8322

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:info@nippon-taiko.or.jp

会報

新世紀に向け海外の拠点づくりを推進 ～サンフランシスコで日米太鼓会議・太鼓公演を開催～

当財団では、日本太鼓の普及・発展を図るため、国内において既に34都道府県が支部として加盟し、未開設の13府県については、2002年を目処に支部化に務めることとしています。一方、海外での日本太鼓の普及を高めていくため海外の太鼓チームと交流を深め、各国に当財団の拠点づくりを進めていくことにしています。今回は、その第一歩としてアメリカのサンフランシスコで日米太鼓会議と太鼓公演の交流を行いました。

今回、サンフランシスコ太鼓道場の田中誠一氏より2000年11月11日（土）・12日（日）に開催される日米太鼓会議並びに国際太鼓フェスティバルへの参加要請があり、海外への拠点づくりの第一歩として実施いたしました。今回は、財団が初めて参加するため、日米太鼓会議が開催されることとなりました。

この日米太鼓会議並びに国際太鼓フェスティバルに参加するため、アメリカを中心にカナダ、ブラジル等で活動している日本太鼓チーム12団体が集まりました。日本から財団を代表して、塩見副会長、小口副会長、青木職員、大分県よりゆふいん源流太鼓（代表・長谷川義以下6名）が参加しました。

会議には29名が出席し、田中氏の進行のもと、塩見副会長が財団の概要を詳細に説明した後、海外での太鼓支援について意見がかわされました。多くの出席者から、日本太鼓には様々な流派（打法）があるにもかかわらず、その情報が入手できないので、今後も日本各地に存在する日本太鼓チームを紹介してほしいとの要望がありました。

国際太鼓フェスティバルは、前人気もすごく、2,000人収容のホールが満員の観客で埋まり、大盛況のうちに終了いたしました。

<公演日程>

11月11日（土）国際太鼓フェスティバル公演

12日（日）日米太鼓会議並びに国際太鼓フェスティバル公演

（両日ともカリフォルニア大学バークレー校で開催）



（日米太鼓会議出席者）

サンフランシスコ太鼓公演のお礼

サンフランシスコ太鼓道場
代表 田中 誠一

この度は第31回国際太鼓フェスティバルに御来駕下さり、ありがとうございました。

太鼓フェスティバル、第1回日米太鼓会議にご臨席賜り、かつてない緊張感の中で進行いたしましたが、無事大任を果たし、ほっといたしました。

今後の課題としての試金石にはなり得たと思います。太鼓フェスティバルの方は、塩見、小口両副会長の飛び入りの大喝采のハプニングあり、第一部にゆふいん源流太鼓、第二部でサンフランシスコ太鼓道場が締めて、希にみる大好評のフェスティバルになりました。衷心より感謝申し上げます。

九州の手練れの刺客の殺気に圧倒されながらもわが太鼓道場の面々、舞台を務めあげ、まさに人の和

によって満足な手づくりフェスティバルになりました。ゆふいん源流太鼓の長谷川、河野、佐藤氏の3名は、今の日本でついぞ見かけなくなった武人です。アメリカの太鼓ファン、仲間に紹介する機会を下さいまして、私の夢が叶いました。

思えばアメリカ砂漠の開墾32年、植林した苗が少しずつ育ち、DrumからTaikoへ試行錯誤と糸余曲折の繰り返しのうちに、あっという間に20世紀末になってしまいました。

塩見副会長がサンフランシスコの空港に現れた時から副会長の発する気に圧倒されながら接した4日間は私にとって大変貴重、運命的な時空でした。塩見副会長から戴いた温かいお言葉によって、私と米国太鼓が認識されたと自負いたしました。32年でやっと一人前になれました。私はいつも、太鼓の神さまと話してここまでやってまいりました。至誠通天、神様に通じたのです。

太鼓界はもとより、日本を代表する見識者としての塩見副会長からの励ましは、何にも勝る私の宝となりました。これを一つの節目として、20世紀の有終の美とし、新たな決意で21世紀に向かい、太鼓道、心・技・体・礼に精進したと思います。今後、御教尊賜れますよう、切にお願い申し上げます。

塩見副会長をはじめ、皆々様のご健勝を念じつつ。

合掌



(サンフランシスコ太鼓道場)

東欧、中央アジア5カ国で公演 ～全ての公演会場で熱狂的な歓迎を受ける～

この公演は、国際交流基金の要請を受けて、日本文化の紹介を目的にハンガリー、チェコ、スロバキア、カザフスタン、ウズベキスタンの5カ国で実施いたしました。

このため、当財団が静岡県の太鼓チーム富岳太鼓（山内強嗣代表以下5名）を10月4日から27日までの約3週間にわたって派遣しました。

どの会場も立見が出るほどの大盛況で、海外における日本太鼓の人気の高さを再認識いたしました。

<派遣メンバー>

富岳太鼓

代 表：山内強嗣、須賀有希、田代雅子、
鈴木進一、早野 均

(財)日本太鼓連盟

塩見副会長、大澤総務部長

<公演日程>

- 10月6日(金) (公演ハンガリー・ブダペスト文化ホール)
9日(月) (公演ハンガリー・ブダペスト文化ホール)
11日(水) (公演スロバキア・アレーナ劇場)
12日(木) (公演スロバキア・アレーナ劇場)
15日(日) (公演チェコ・プラハ城ボールゲームホール)
18日(水) (公演ウズベキスタン・ナヴォイ劇場)
19日(木) (公演ウズベキスタン・ナヴォイ劇場前特設会場)

23日(月) (公演カザフスタン・アルマトイコンサートホール)

24日(火) (公演カザフスタン・アルマトイコンサートホール)



(プラハ城での演奏・ハベル大統領と握手)

東欧・中央アジア公演を終えて

富岳太鼓 早野 均

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

ビートボイズと現地紙で報道された中近東・南アフリカ公演から約2年、今回は東欧・中央アジア公演を行いました。

メンバーは富岳太鼓山内強嗣代表をはじめ、須賀有希、田代雅子、鈴木進一、早野均の5名です。

前回との違いは女性が2名参加ということです。この事業で女性が参加するのは初めてであり、結果次第で今後に影響することは明らかであるというプレッシャーの中、公演に臨みました。

東欧ではハンガリー、スロバキア、チェコの3カ国で5公演を行いました。各国共、会場に入りきれない来場者がいるほど反響があり、その中でチェコの公演ではプラハ城という歴史あるお城の中で公演をし、貴重な体験をすることが出来ました。

また、城内の別会場において日本財団が資金を援助しているフォーラム2000という国際会議とレセプションが開かれており、公演終了後、その会場で公演を行いました。

チェコのハベル大統領、文化大臣をはじめ各国の代表の方達にも演奏を聴いていただき、約20分間の演奏後、大統領自ら握手を求められるという異例の出来事もありました。これには石田大使をはじめ、我々も驚かされました。

中央アジアでは、ウズベキスタン、カザフスタンと日本ではあまり知られていない国での公演に臨みました。両国共、日本の太鼓が入るのは公式、非公式にも初めてということでした。我々の演奏する太鼓が日本の太鼓のイメージそのものになってしまったことは言うまでもないという緊張感の中、もう一度、気合いを入れ直し、中央アジア1カ国目のウズベキスタンの公演に臨みました。

公演会場は、50年余り前に旧ソ連軍によって強制

連行された日本人捕虜によって建設された劇場です。緊張感と当時のことを想像し、演奏を行いました。

また、2日目の公演は野外に会場を移し、3000人の前で現地の太鼓チームとの競演を行いました。

公演翌日、現地で亡くなられた方達が埋葬されている日本人墓地で哀悼と敬意を込めて、鎮魂の太鼓を奉納しました。墓地は現地の方達が清掃や献花を毎日のように行ってくれており、メンバー全員が感動させられました。

カザフスタンでの公演も反響が大きく、スタンディングオベーションや突然のTV出演依頼がありました。ほとんど知識もなく入国した両国でしたが、日本への関心の高さや親日ぶりは、我々に感動を与えてくれました。

今回の公演のキーワードは“チームワーク”という代表の言葉がいかに大切か実感しました。メンバー各々の役割や一連の動きはもちろんですが、公演に携わってくださった塙見副会長、大澤部長、また、今回の機会を与えてくださった国際交流基金の皆様のご支援、ご協力があってからこそ、貴重な体験をすることが出来ました。本当にありがとうございました。今後の活動にも一層の努力をしていきたいと思います。

● 第8回技術委員会を開催 ●

第8回技術委員会が12月7日(木)に開催されました。委員会では、次の事項が審議され、可決承認されました。

1. 日本太鼓資格認定事業について

①公認指導員の昇級について

5回の講習内検定を満たした者について検討した結果、鹿児島県の松元氏が指導力も高く、1級公認指導員に相応しいと判断し、昇級を認めることとした。

②公認指導員の新規認定候補者(特別推薦)について

栃木県より推薦のあった2級の片庭、鈴木、3級の矢部、鈴木、川俣、上の6氏について、検討した結果、認定することとした。

また、秋田県支部が認定している29名の公認指導員と2名の技術認定員について検討した結果、レベルも高く、また、財団の認定制度導入以前から既に実施していたことを考慮し、次回の講習会(栃木県)において認定することとした。なお、これら認定者については、1月18日の運営委員会に諮り決定することになる。

2. 日本太鼓教本の改訂について

教本の内容等について、再度検討することとした。

3. 日本太鼓ジュニアコンクールについて

①第3回大会の実施について

②出場団体、審査委員等について

審査委員の選考については、運営委員会に一任することとした。

4. その他について

①日本太鼓全国フェスティバルについて

2002年度以降の日本太鼓全国フェスティバルの実施内容について見直すこととし、事務局が実施案を作成することになった。

②講習会事業について

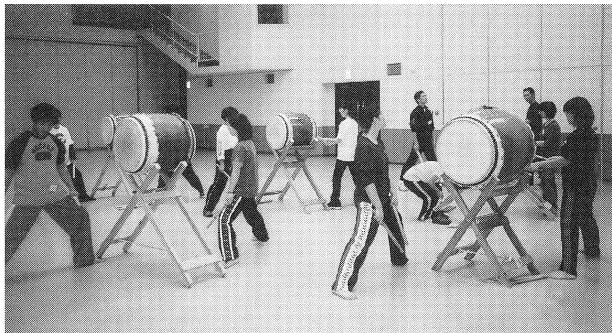
これまでの講習会の実施状況について、報告を行った。

③2000年度公認指導員更新研修会について

公認指導員に対し、未参加の場合は資格が喪失する事を周知し、栃木に参加するよう呼びかけることとした。

各地で講習会を開催

～第9回日本太鼓全国講習会、 第4回日本太鼓支部(神奈川)講習会～



(八丈太鼓講座)

第9回日本太鼓全国講習会

第9回日本太鼓全国講習会が11月11日(土)・12日(日)の両日、秋田県仙北町ふれあい文化センターを中心に行われました。

今回は、秋田県支部の主管により行われたもので、鈴木支部長をはじめとする会員の皆さんの熱意と努力に心から感謝を申しあげます。

講習会には全国各地より140名の受講生が参加しました。また、従来秋田県太鼓連盟が独自に公認していた指導員を財団指導員に切り替える前提条件としての講習内検定も行われました。

開会式は、財団を代表して小野常務理事、主管団体より鈴木支部長の挨拶があり、続いて仙北町嘉藤助役より歓迎の挨拶がありました。

講師による模範演奏に続き、午後からは各会場へ移動し、厳しい指導が開始されました。翌2日目は講座も順調に進み、各専門講座で技術を習得した受講生による成果発表が行われ、2日間の講習による上達ぶりを披露しました。

○ 専門講座

秩父屋台囃子講座 (講師 高野 右吉氏)

八丈太鼓講座 (講師 菊池 修氏)

縦太鼓講座 (講師 鈴木 孝喜氏)

○ 基本講座

4級基本講座 (講師 松枝 明美氏)

5級基本講座 (講師 古屋 邦夫氏)

技術認定員検定試験の結果は次の通りです。

1級検定 6名受験 1名合格

2級検定 13名受験 4名合格 (1名認定)

4級検定 12名受験 12名認定

5級検定 77名受験 77名認定

第2回公認指導員更新研修会を開催

第2回公認指導員更新研修会が全国講習会と平行して行われ、東北地区をはじめ全国から30名の公認指導員が参加しました。

○ 研修会内容

太鼓界の現状と今後 (講師 小野 翼氏)

太鼓の歴史と特性 (講師 西角井正大氏)

鎮魂の太鼓演奏指導 (講師 古屋 邦夫氏)

指導者としての心構え (講師 小野 翼氏)

2001年2月24日(土)・25日(日)栃木県鹿沼市で開催される更新研修会が最後となります。

まだ、参加されていない公認指導員の方は、資格を失いますので、必ず参加して下さい。

第4回日本太鼓支部講習会

第4回日本太鼓支部講習会が神奈川県支部の主催により、12月9日(土)・10日(日)の両日、神奈川県平塚市民センターにおいて行なわれました。

講座は、4級、5級基本講座と大江戸助六太鼓講座が設けられ、170人の受講生が参加しました。また、2002年からの新学習指導要領に伴い、受講生の中には10名以上の中学校教諭の姿も見られました。

○ 専門講座

大江戸助六太鼓講座 (講師 小林 正道氏)

○ 基本講座

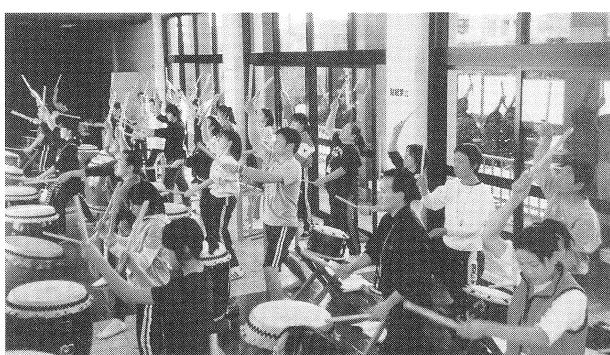
4級基本講座 (講師 松枝 明美氏)

5級基本講座 (講師 古屋 邦夫氏)

技術認定員検定試験の結果は次の通りです。

4級検定 33名受験 33名認定

5級検定 118名受験 118名認定



(4級基本講座)

現在、各級の技術認定員数は次の通りです。(2001年1月31日)

1級 2名、2級 17名、3級 59名、4級 287名、5級 1131名となりました。

技術認定員総数は1496名となり、前回より241名の増員となりました。

日本太鼓と学校教育—④

今回は、(財)日本太鼓連盟京都府支部長であり、「大和の響き・京」の代表者である富治林浩氏から、小・中学生を対象に日本太鼓を指導した体験を寄稿していただきました。

小・中学生への太鼓指導で感じたこと

大和の響き・京 富治林 浩

昨年10月、京都府中宮中学校において、生徒600名を対象に京都府支部加盟の太鼓チーム3団体が協力して視聴覚行事・文化講演を行いました。内容としては「太鼓文化と生活文化」と題して30分の講演を行い、伝統曲を中心に太鼓演奏を60分、生徒を中心に教師が加わっての体験演奏を10分行いました。

生徒の体験演奏については、開催日の3日前にワークショップを2時間行い「豊年太鼓」を1曲練習しました。本番までの間、生徒達が自主的に集まり練習を重ねた様子で、本番では心も体も精一杯の表現で、本当に楽しそうに元気なパフォーマンスを見せてくれました。会場の600名の生徒達からも自然にテンポに合わせた手拍子が湧き出し、会場全体が一体となって盛り上がり、太鼓は「技より心」の意味を再確認させられました。

校長先生をはじめ教師の方々も太鼓に大変興味を持っておられ、2002年からの中学教育課程に向けて、太鼓の持つ教育的要素に改めて注目された様子でした。

演奏終了後、私たちの控室にたくさんの生徒がやってきました。特に2、3年生の生徒達から「2002年だと私たちは太鼓が出来ない」ととても残念そうでした。そして、早く太鼓クラブを作ってほしいと

校長先生に訴えていました。私たちメンバーも単に見せる、聞かせるだけの舞台ではなく、600名の生徒と一緒に、感動を共に出来た楽しい一時でした。本当にあっという間に100分は過ぎてしまいました。

また、その2週間後に、京都府青年会議所主催の青少年文化教室（小学生約300名を対象）が行われ、前回の中宮中学校文化公演と同じ内容で100分の公演を行いました。今回の対象が小学生であったため、主催の青年会議所の方へ「本当に2002年から中学校で太鼓をするようになるのか」「太鼓を習いたいので紹介してほしい」などの問合せが多くあったようです。これから日本太鼓の持つ意義の大きさと深さを改めて実感しました。



(中宮中学校生徒による体験演奏)

秋の叙勲で財団関係者が受章

吉野当財団前会長(前府中市長)が 勲三等旭日中綬章を受章

秋の叙勲で当財団の前会長吉野和男氏が勲三等旭日中綬章を受章されました。この章は、吉野前会長の幅広い分野でのご功績が評価されたものであり、太鼓関係者にとっても大変名誉なことであります。

心よりお祝い申し上げます。

山内令子理事が 藍綬褒章を受章

当財団の理事であり、静岡県・富岳会の理事長である山内令子氏が、秋の叙勲で藍綬褒章を受章されました。この章は、山内令子理事の長年にわたる日本太鼓を使用した知的障害者に対する療育等を含む活動のご功績が評価されたものです。この受章は、太鼓界にとっても今後の大きな励みとなります。

心よりお祝い申し上げます。

第3回総務大臣杯日本太鼓ジュニアコンクール出場団体決定

第3回総務大臣杯日本太鼓ジュニアコンクールの出場団体が決定いたしました。今回は、29都道府県より33チームが出場し、日頃の練習の成果を競います。出場チームのうち20チームが各地の予選大会を勝ち抜き、支部代表として出場いたします。本大会の詳細は、下記のとおりです。

日 時 2001年3月25日（日）11:00～17:30（予定）

会場 岡谷市文化会館カノラホール（長野県岡谷市幸町8-1 Tel.0266-24-1300）

主 催 財団法人 日本太鼓連盟

主 管 財団法人 日本太鼓連盟長野県支部（事務局 Tel.0266-23-6188）

入場料 一般 2000円 (一律料金)

■出場団体（29都道府県33チーム）

寿子ども蝦夷太鼓同好会(北海道)、米山丸山太鼓(宮城)、能恵姫龍神太鼓(秋田)、和太鼓「紅」(山形)、和紙の里 和雅美太鼓(福島)、みのり太鼓(茨城)、岩舟武藏太鼓(栃木)、尾瀬太鼓愛好会(群馬)、高野右吉と秩父社中(埼玉)、上総の国 房州太鼓(千葉)、荏原流れ太鼓ひびき会(東京)、相州平塚七夕太鼓保存会(神奈川)、十日町大太鼓雪花会(新潟)、越中いさみ太鼓保存会(富山)、手取亢龍若鮎組(石川)、雨鳴太鼓保存会(山梨)、鬼島太鼓(長野)、信濃國松川響道場(長野)、信濃國 松川響岳太鼓子供会(長野)、信州安曇野穂高太鼓子供会(長野)、三好町やまびこ太鼓(長野)、美濃もとす太鼓ジュニアチーム(岐阜)、富岳わんぱく太鼓(静岡)、大和の響き 京(京都)、越部鼓(兵庫)、三刀屋太鼓Jr.(島根)、広島山陽高校音楽部“彈”(広島)、小城太鼓小天狗(佐賀)、おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎)、人吉ねぶか太鼓(熊本)、ゆふいん源流少年隊(大分)、串間くるみ太鼓(宮崎)、枕崎火の神乙女太鼓(鹿児島)

*特別出演（4チーム）

天城連峰太鼓(静岡)(前年度優勝チーム)、御諏訪太鼓保存会(長野)、諏訪市龍神会(長野)、甲州ろうあ太鼓(山梨)

*日本太鼓ジュニアコンクールの杯名称が2001年1月6日の省庁再編により、これまでの自治大臣杯から総務大臣杯へと変更になりました。

第10回日本太鼓全国講習会開催の案内

日 時：2001年2月24日（土）・25日（日）

会 場：栃木厚生年金休暇センター（栃木県鹿沼市栃窪1255 Tel. 0289-65-1131 Fax. 0289-65-1157）

主 催：財団法人 日本太鼓連盟

主 管：財団法人 日本太鼓連盟栃木県支部

専門講座：御諏訪太鼓講座（複式複打法）……小口 大八氏（長野県）

八丈太鼓講座 (单式複打法) ……菊池 修氏 (東京都)

縦太鼓講座 (单式单打法) …… 鈴木 孝喜氏 (秋田県)

基本講座：3級基本講座 松枝 明美氏（長野県）

4 級基本講座 安江 信寿氏 (石川県)

5級基本講座 古屋 邦夫氏（長野県）

*公認指導員の更新研修会を2000年度の日本太鼓全国講習会と併せて実施します。

1998年1月～1999年2月(京都府)までに認定された方達を対象とした公認指導員更新研修会はこれで終了いたします。

本更新研修会で更新されませんと公認指導員の資格は消失しますので、ご注意下さい。

問合せ先：栃木県太鼓連盟事務局

事務局長 鈴木勲雄（栃木県宇都宮市鶴田町431-86）

Tel. 028-637-0325 Fax. 028-637-0325

memento mori 静岡2000

10月17日(火) 静岡県浜名湖競艇場において、日本財団主催による「memento mori 静岡 2000」が開催されました。これは、限りある人生を自分らしく、より良く生きるために、各専門家の方々の講演を聞きながら、死を見つめ考えるという主旨のものです。この講演の合間に日本太鼓の演奏依頼があり、静岡県の富岳太鼓に演奏していただきました。

約750名の観客の前で素晴らしい演奏を披露し、大きな拍手を浴びていました。



第3回競艇王チャレンジカップ競走

11月21日(火) 大阪府住之江競艇場で開催された第3回競艇王チャレンジカップ競走のオープニングとレースの合間に日本太鼓を演奏しました。

今回は鹿児島県の霧島九面太鼓・和奏(わかな)に演奏していただきました。女性5名のチームが、とても力強いバチさばきで、大勢の競艇ファンを釘付けにしました。演奏終了後、メンバーの周りを大勢の観客が取り囲むなど、大変な人気でした。



2000神宮外苑ロードレース

12月17日(日) 神宮外苑ロードレース実行委員会(笹川スポーツ財団、東京新聞等で構成)主催による「2000神宮外苑ロードレース」が国立競技場において開催されました。

この大会は、健常者と障害者が一緒になって、参加できるレースです。また、レース参加者の記録が日本陸上競技連盟公認となります。

今回は神奈川県・相州海老名東柏太鼓と山梨県・雨鳴太鼓保存会に出演していただき、寒い中、午前9時から午後2時まで約4000人のランナーへ応援演奏を行いました。



第15回賞金王決定戦競走

東京都平和島競艇場で開催された第15回賞金王決定戦競走で3日間、日本太鼓の演奏を行いました。

太鼓の音が鳴り出す前からうわさを聞きつけた観客がステージ前に集まっていました。いよいよ演奏が始まると大勢の観客が集まり、勇壮なバチさばきに見入っていました。

12月21日(木) 助六太鼓保存会 (東京都)

23日(祝) なまはげ太鼓伝承会 (秋田県)

24日(日) 武蔵国府太鼓響会 (東京都)



事務局だより

～2001年度事業のお知らせ～

当財団の主催事業及び支部講習会の開催期日が内定いたしましたので、お知らせいたします。

▶ 2001年6月6日(水)

第5回日本太鼓チャリティーコンサート（東京都赤坂・草月ホール）

▶ 2001年6月9日(土)・10日(日)

第11回日本太鼓全国講習会（長野県穂高市）

▶ 2001年6月23日(土)・24日(日)

第5回日本太鼓支部講習会（大分県湯布院町・湯布院町立スポーツセンター）

▶ 2001年7月14日(土)・15日(日)

第6回日本太鼓支部講習会（千葉県東金市・東金市青年の家）

▶ 2001年7月20日(祝)・21日(土)

第7回日本太鼓支部講習会（京都府井手町・井手町自然休養村管理センター）

▶ 2001年9月2日(日)

第5回日本太鼓全国フェスティバル（福岡県北九州市・北九州メディアドーム）

▶ 2001年10月(未定)

第3回日本太鼓全国障害者大会（静岡県御殿場市・御殿場市民会館）

▶ 2001年11月24日(土)・25日(日)

第12回日本太鼓全国講習会（島根県大田市）

▶ 2002年2月23日(土)・24日(日)

第13回日本太鼓全国講習会（愛知県）

*なお、詳細等につきましては、その都度ご連絡いたします。多くの方の参加を期待しております。

新たに1級公認指導員誕生

和太鼓雷塾(鹿児島)の松元和敏氏が、去る11月11日・12日に開催された第9回日本太鼓全国講習会において、5回の講習内検定を終了いたしました。

昇級の条件が整った同氏について、1月18日に開催された運営委員会で検討した結果、同氏は指導力も高く、1級公認指導員に相応しいと判断し、1級公認指導員への昇級が認められました。これで24人目の1級公認指導員が誕生したことになります。

また、同委員会で2級公認指導員として栃木県支部の片庭、鈴木の両氏が認定されました。



各地のたより

● 2001年2月3日(土)

第30回御諏訪太鼓連合会初ひびき大会

<主催：御諏訪太鼓後援会、会場：長野県諏訪市RAKO花乃井ホテル>

● 2001年2月11日(日)

第10回 ばちの祭典

<主催：(財)日本太鼓連盟埼玉県支部、会場：埼玉県川口市総合市民センターリリア>

● 2001年3月4日(日)

相州海老名東柏太鼓20周年チャリティーコンサート

<主催：相州海老名東柏太鼓、会場：神奈川県海老名市文化会館>

● 2001年3月11日(日)

第2回京都府太鼓フェスティバル

<主催：(財)日本太鼓連盟京都府支部、会場：京都府相楽郡木津町「木津町中央交流会館」>

● 2001年4月22日(日)

豊岡和太鼓フェスティバル

<主催：豊岡こうのとり太鼓、会場：兵庫県豊岡市民会館(文化ホール)>